

町 長	副町長	院 長	副院長	事務長	次 長	担 当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書				
会議区分	会議 ・ 打合せ ・ 協議		文書番号	上富病院第 661 号
			決裁期日	令和 4 年 2 月 9 日
名 称	令和 3 年度 第 2 回上富良野町立病院運営審議会			
日 時	令和 4 年 2 月 8 日 (火) 18 時 30 分 から 19 時 50 分			
場 所	役場 2 階 第 2 会議室			
出席者	町長、北川委員長、鎌田委員、巽委員、中田委員、大道委員 事務長、次長、末永主査、長谷川主査			
内 容	<p>町長、北川委員長挨拶の後、次のとおり審議した。(委員長挨拶後、町長退席)</p> <p>1 令和 3 年度病院事業会計決算見込みについて ○別紙資料により説明、概要は次のとおり。 ・令和 3 年度の決算見込みは、事業収益 852,804 千円 (17,374 千円の増)、事業費用 928,100 千円 (11,712 千円の増) となり当期純損失は、75,296 千円となる見込みである。また、累積欠損額は 1,172,787 千円となる見込みである。</p> <p>2 令和 4 年度病院事業会計予算(案)について ○別紙資料により説明、概要は次のとおり。 ・収益的収入及び支出 (3 条予算) は、994,613 千円で 19,016 千円の増。主な要因は引き続きコロナワクチン接種の委託費用を見込んでいる。 ・資本的収入及び支出 (4 条予算) は、166,742 千円で 100,051 千円の増。主な要因は、令和 4 年度の病院改築事業にかかる費用 (実施設計費、子どもセンター解体費、地中熱導入に係る試験費用) と調整交付金事業を活用したホイールローダー購入、訪問車両の更新計画によるものである。</p> <p>3 町立病院改築整備事業について ○基本設計概要板により説明 ・新病院建設のコンセプト、病院概要、土地利用計画と平面計画、地中熱導入、事業費と今後の日程を説明</p> <p>4 その他 ○循環器内科の休診について ・協会病院の名取先生が退職されることになり当面の間は休診となる。現在、通院されている患者は経過観察の患者を含め院長が診察をする</p>			

○質疑及び意見等

・赤字となることは仕方がない部分はあるが、減価償却費の範囲内で収まるよう努力されたい。

・補助金が増えている理由は

⇒調整交付金事業と地中熱導入にかかる試験費用の補助金である。

・改築整備事業について

建設予定地の子どもセンター跡地は現病院より低くハザードマップで浸水のおそれのある場所であること、また新病院の駐車場と段差があると利用者にとって不便であるため現病院と同じ高さに盛土する対応が必要と思う。

⇒現病院と同じ高さとなるよう盛土を行う予定である

地中熱の導入は決定か。また導入事例はあるか。

⇒各種再生可能エネルギーを比較したところ、国からの導入費補助がありランニングコストが抑えられる地中熱を採用する。事例としては、蘭越町の診療所、浜中町役場、近郊では中富良野町のなかまーる、町内では上小、白銀荘、信金、一般住宅などで導入実績がある。

町民へ周知する際にはランニングコストが安くなることを伝えてほしい。

⇒A重油ボイラーと40年間のライフサイクルコストで比較すると約半分程度と安くなる。町民へ説明する際には導入コストに対して補助があること、またランニングコストも安くなることを合わせて説明する。

自家発電機は設置予定であるか

⇒停電時も継続運営できるよう、機械棟に発電機を設置予定

院内で必要な電力の6割程度を供給できるよう整備する計画である